

予算決算常任委員会記録

1. 開催日時 令和8年2月16日(月) 午前 9時30分
2. 場 所 市議会第3委員会室
3. 出席委員 上田委員長ほか議長を除く議員 17名
4. 委員外出席議員 南野議長
5. 欠席委員 なし
6. 執行部出席者 別紙のとおり
7. 議会事務局職員 大庭局長・釘物次長
8. 協議事項
3月定例会本会議(2月13日)から付託された事件(議案1件)
9. 傍聴者 2名

会議の概要

- ・ 開会 9時30分 閉会 11時18分
- ・ 審議の経過及び結果
(別紙のとおり)

上記のとおり相違ありません。

令和8年2月16日

予算決算常任委員長

上田啓二

記録調製者

釘物伸次

— 開会 9:30 —

上田委員長 お疲れさまです。本日の出席については、委員 17 名であり、定足数に達しておりますので、只今から予算決算委員会を開会いたします。最初に、委員並びに執行部の皆様に申しあげます。委員会において発言しようとする場合は、挙手をして、「委員長」と呼び、委員長の許可を得てから発言していただくようお願いします。委員におかれましては、関連する質疑がある場合は委員長関連と呼び、続けて行われますようお願いします。また、質疑及び等については、一問一答方式によりできるだけ簡明に行われますようお願いいたします。なお、質疑に際しては、予算書及び説明資料のページ数、目、事業コードなど該当箇所を示して、発言いただくようお願いいたします。それでは、これより本委員会に付託されました議案 1 件について審査を行います。議案第 1 号令和 7 年度長門市一般会計補正予算第 9 号を議題といたします。審査は第 1 条歳入予算の補正から第 43 号の補正まで一括して別紙一覧表に沿って課ごとに質疑を行います。始めに消防本部所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いいたします。

消防庁 消防本部所管の事業につきまして、補足説明を申し上げます。補正予算書 83 ページ、第 1 目「常備消防費」、事業コード 900 常備消防費の消防指令センター共同運用負担金 545 万円、第 2 目「非常備消防費」、消防施設等整備事業 296 万 4 千円、及び「第 3 目」消防施設費の防火水槽整備工事 228 万円につきましては、いずれも入札減による歳出予算の減額計上と、併せて歳入におきましても予算書 38 ページ第 8 目の「消防債」を減額計上するものです。

上田委員長 以上で補足説明が終わりました。これより質疑を始めます。ご質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご質疑もないようなので質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いいたします。

— 休憩 9:32 —

— 再開 9:33 —

上田委員長 休憩前に引き続き、会議を始めます。次に三隅支所、日置支所、油谷支所所管について一括して審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

三隅支所長 それでは、三隅支所所管につきまして、補足説明を申し上げます。補正予算書の 78 ページから 79 ページ、第 1 目「河川総務費」、事業コード 710「三隅地区河川等維持管理費」施設維持補修工事 1,154 万 2 千円につきましては、補正予算説明資料の 2 ページにお示ししていますように、三隅支所において管理してい

る山本新開排水ポンプ場について、1号ポンプの更新に係る経費を増額補正するものであります。この山本新開排水ポンプ場は、旧三隅町時代の昭和51年度に国の補助金により整備された施設であり、三隅浅田地区及び沢江地区東側エリアから集まる雨水等を水中ポンプ口径250mm2台による追従同時運転により、隣接する仙崎湾へ強制排水を行っています。しかしながら、昨年12月に1号ポンプが故障し、稼働できない状態になったため、早期の復旧が必要なことから更新工事を行うものです。なお、計上した予算につきましては、年度内の事業完了が困難なことから、補正予算書6ページ第2表「繰越明許費補正」の記載にあるとおり、翌年度に全額繰り越すものです。次に、補正予算書7ページ「債務負担行為補正」「三隅児童クラブ児童送迎車運行業務」473万6千円につきましては、三隅地区の児童クラブは、明倫小学校の空き教室で実施しており、浅田小学校の児童を明倫小学校まで送迎していることから、新年度の始業に間に合うよう、年度内に指名競争入札を行う必要があるため計上するものです。

上田委員長 ほかにございましたら。

日置支所長 補足説明は特にございませぬ。

油谷支所長 それでは、補足説明いたします。予算書の46ページから47ページの第13目「油谷支所費」、事業コード900「油谷支所費」、第10節「需用費」の光熱水費として、560万円を減額計上しております。減額計上が高額になった理由としましては、令和7年3月に供用開始をいたしました油谷支所及びYYふれあいセンターの電気料について、令和7年度当初予算が新庁舎のはじめての予算計上となっております。電気料の積算にあたりましては、電気料の実績がなく料金の予測が困難なため、かなり余裕を持たせた金額での予算計上としていたことから、実績との差が大きくなっているところです。また、今年度は支所敷地の外構工事として、駐車場等一年を通し、整備を行っていることから、集団検診や大人数の会議・研修等の使用が出来なかったことが、電気料にも影響していると考えています。

上田委員長 以上で補足説明を終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。

田村継委員 予算説明資料2ページ、第8款「土木費」、第3項「河川費」、第1目「河川総務費」についてお伺いします。ポンプ機が1台故障されているということですが、この1台の故障状況と暫定の運用措置をお伺いします。

三隅支所長 故障の状況でございますが、昨年12月中国電力から電力盤に異常が出ていと連絡があり、確認をしたところ、電力盤の3本のヒューズの内、1本が切れていると同時に、ポンプ制御盤についても1号ポンプの警告灯が点灯しておりました。手動での作動を試みるも1号ポンプが動かない事象が発生しておりました。その後、設置業者による緊急の点検を行ったところ、ポンプを動かすモーターの軸がロックしたことにより、過電流が流れたことからヒューズが切れ、ポンプ自体が故障をして

いたものであることが判明しました。当該ポンプにつきましては平成 22 年の更新から 15 年が経過していることから、経年劣化も相当進行しており、常時水中にあるモーター部品の劣化や固着等を起こしたものであると報告を受けております。また現在の暫定運用状況でございますが、応急措置といたしまして、2 号ポンプの単独運転に切り替え、対応をしております。また関係自治会の自治会長には 1 号ポンプが故障し、2 号ポンプの単独運転をしていることを、またポンプを更新する方向で進めていることを説明をしております。今後の対応につきましては、台風等、大雨が予想される場合には職員パトロールによるポンプ周辺及び周辺地域の状況の把握に努め、関係部署との連携の中で、早めの注意喚起を行うなど、地域住民の安全確保に努めて参りたいと考えております。また、場合によっては同等の能力となるよう複数台のポンプによる排水機能を確保するといった、緊急的な措置についても考慮する必要があると考えております。

田村継委員 では 2 号ポンプで単独運用をされているのですが、2 号ポンプのみでどのくらいの降雨量まで対応か、お伺いいたします。

三隅支所長 どの程度の雨量まで耐え得るかは、ちょっと把握しておりません。

林委員 この事業、令和 7 年度内の事業完了ということなんで、事業見通しをお伺いしたいんですけど、大体この工事の完了の期間を想定されているんですか。

三隅支所長 工事につきましては既製品ではございません。特注のものになります。発注して工場製作に 3 か月から 4 か月程度かかると聞いております。その後、据え付けを合わせて 4 か月というところを見込んでおります。

林委員 4 か月ということは梅雨時期にかかる可能性が非常に高いということなんで、先ほど三隅支所長がおっしゃったように、地域の方に非常に影響がある____大雨とか降ると、その辺注意喚起を含め万全の態勢で事業執行していただきたいと思っております。よろしくお伺いいたします。

ひさなが委員 この事業の財源の確認なんですけど、これは全て一般財源で措置をされるということでしょうか。

三隅支所長 一般財源を充てております。

ひさなが委員 わかりました。緊急性が非常に高いものだと思うんですけど、であれば 3 月の下旬まで待てる状況なのかなと、少し気になっていて、たとえば先日予算の 10 号は一発で、あそこでおした状況も考えられたんじゃないかと思うんですけど、その緊急性についてもどれくらいの対応策やリスクを考えられているのかをお尋ねします。

三隅支所長 ポンプの据え付けまでに 4 か月程度を要するっていうことではございます。関係する自治会からも早くポンプの復旧の要望を聞いてはおります。今回、補正で挙げておりますが、このポンプが故障したのが 12 月の末ということで、メーカーの工場が年末年始で止まっていた関係で、見積もりができたのが 1 月の 16 日ごろで

したか、補正に挙げるギリギリであったものですから今回の3月の補正に挙げるというタイミングしかございませんでした。補正議決後はすぐに発注に取りかかりまして、なるべく早い段階で梅雨時期までには間に合わせたいというところを考えております。

ひさなが委員 本当急げば急ぐんだったらもう本当にこの間、それができてしまえばそこから4か月がスタートして、確実に間に合うようなスケジュールなったのかなというところがあるのでやっぱり緊急性が高いものについては、しっかりスケジュールを組んだ上で、これやっていただきたいなというところがあるので、なるべく可決したあとも、なるべくこうやっていただけたらなというふうに思います。

中平委員 事業が違いますけど、よろしいですね。補正予算書47ページ、第11目「三隅支所費」、事業コード900「施設維持補修工事費」294万4,000円について、施設工事場所とその減額補正に至った理由をお伺いいたします。

三隅支所長補佐 工事箇所につきましては、三隅支所の今回の事務所部分と、待合ホール、それからトイレに関しての箇所になります。実際には室外機2台それから室内機5台を撤去改修ということで、工事をして更新をしております。

三隅支所長 減額の理由につきましては入札減により減額が生じたものでございます。

上田委員長 ほかにございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、三隅支所、日置支所及び油谷支所所管全般についてご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩します。委員の皆様は次席で待機をお願いします。

— 休憩 9:48 —

— 再開 9:49 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、会計課所管について審査を行います。執行部を補足説明がありましたらお願いします。

会計管理者 会計課につきましては、補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑がないので、質疑を終わります。次に、選挙管理委員会事務局所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会事務局所管につきましては、補足説明は特にごございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので質疑を終わります。次に、監査委員

事務局所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。
監査事務局長 監査委員事務局所管につきましては、補足説明は特にございませ
ん。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はござ
いませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。説明員入
れ替えのため暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いいたします。

— 休憩 9:51 —

— 再開 9:52 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に議会事務局所管について審査
を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 それでは議会事務局所管につきましては、特に補足説明はございま
せん。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ありま
せんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので質疑を終わります。次に、総務課所
管について審査を行います。なお、人件費補正における調整部分につきましては、総
務課所管の審査対象といたします。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 総務課所管につきましても、特に補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はござ
いますか。

中平委員 それでは補正予算書は 93 ページ。第 8 目「退職手当金」事業コード 010
でございます。補正予算説明資料は 3 ページです。退職手当基金積立金の 1 億円
について。説明では現職員の年齢構成によりということころこれをもう少し詳しく説明し
ていただければ。

総務課長 基金の積み立てにつきましてはいわゆる団塊ジュニアの世代、昭和 46 年
から 49 年生まれぐらいの方になるんですけどこの方々が 65 歳の定年を迎えます令
和 18 年度から 21 年度に退職手当の支給のピークを迎える見込みでございまして、
その年については毎年 3 億 5,000 万円以上程度の退職手当が必要となる見込みと
なっております。これにつきまして財政負担の平準化を図るために、定年年齢が引き
上げられている期間中でございますのでこの期間中に積み立てを開始しまして、今
後の財政状況を勘案しながらなるべくというふうを考えておるところでございます。

上田委員長 関連がございましたら。

田村継委員 中平委員の関連でお願いいたします。退職金積立金は毎年 1 億円ほ
ど計上されるということですが、財源はどこから持ってくるのか、一般財源なのかをお

伺いたします。

総務課長 財源につきましては特定の財源がございませんのでそのときの財政状況を見ながらになろうかなと思いますので今一般財源かなというふうに考えております。

重村委員 それでは関連で。退職金の準備をしておかなきゃいけないということで、今回 1 億円ということ。今課長のほうからご答弁ありましたように、毎年 1 億円、10 年間程度の計画を持ってということ。こういった基金の積み上げていくときってというのは、一つは期間。それから総額的に何億円まで積み立てておきたいということ、明確に私は示すべきだというふうに思ってます。1 億円ずつ 10 年間。10 億円というものを積み上げていくことが現時点での計画性を持った目標額だというふうな議会は認識をしておいてよろしいのか確認をしたいというふうに思います。

総務課長 去年の 6 月定例会の一般質問の中でも市長答弁等もございましたが、そのときにももちろん市長のほうからも計画的に積み立てることができればということでお答えをさせていただいております。今、仮に毎年 1 億円を毎年の運用益、これは最近 200 万円程度ございますけど、これを積み立てることができましたらピークを迎えます、令和 16 年度末には残高がおよそ 16 億円弱程度となる見込みであります。ピーク時にこの基金を活用することによれば、そのとき財政負担が軽減できるのではないかなというふうに考えておりますので、そこを目標に今考えているということでございます。

ひさなが委員 今の関連です。この積立のタイミングっていうのはいつも大体 3 月の補正のこのタイミングになるのかっていうことをちょっとお伺いしたいなと思ひまして、先ほど財政状況勘案しながらっていう話があったと思うんですけど、なかなか今年も厳しかった来年も厳しかったってなっていくと最終的にやっぱり財政のこの平準化が図れないと思うので除けるべきものとして除けておくのか、それとも決算額がでてその余裕分から引くというか、積み立てていくのか、そのタイミング的なものの考え方を伺いたします。

総務課長 先ほど財政状況を勘案しながらっていうことでお答えさせていただきました。今回もこの度 3 月の補正予算で今回計上させていただいておりますのが財政状況を見ながらっていうところでございます。ですから当然、まだ来年度当初予算のことは、ちょっとお話しできないのかなと思いますが、タイミング的には 3 月の補正でその年の財政状況を見ながらというふうには担当課としては考えておるところでございます。

田村大治郎委員 予算書の 40、41 ページです。第 1 目「一般管理費」、事業コード 001 になります。退職手当一般職 1 億 1,800 万円の今回補正が計上されてございますけれども、今年の退職者の状況について、ここどうかがえますか。

総務課長 退職の状況ということでございますが、退職手当につきましては、当初に

5,000万円ほど計上しておりましたので、今回の補正額が1億1,847万円ということでございます。合計しますと1億6,847万円ということで、退職手当の支給の対象としましては14名分ということになります。退職の状況としましては、今年度は定年者がいない年になりますがそれから普通退職、既に退職されてる方も含めてトータルの退職としては今年度17名を予定しておるところでございます。

上田委員長 ほかにございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、総務課所管全般についてご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:00 —

— 再開 10:01 —

上田委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を始めます。次に、企画政策課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 企画政策課所管については、特に補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)はい、ご質疑がないので質疑を終わります。次に、財政課所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 財政課所管につきましても、特に補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですのでこれより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため暫時休憩いたします。委員の皆さんは自席で待機してお待ちください。

— 休憩 10:02 —

— 再開 10:03 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、監理管財課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いいたします。

企画総務部長 監理管財課所管につきましても、特に補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、税務課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 税務課所管につきましても、補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はござ

いませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑がないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため暫時休憩します。委員の皆さんは自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:03 —

— 再開 10:04 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、防災危機管理課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 防災危機管理課所管につきましては、特に補足説明はございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。

ひさなが委員 予算書 26 ページ 27 ページで歳入の第 1 目「総務費国庫補助金」、「地域未来交付金」327 万円ですけれども、この交付金の概要についてお伺いします。

防災危機管理課長補佐 国の令和 7 年度補正予算に盛り込まれた地域未来交付金のメニューの一つである地域防災緊急整備型で、安全安心で心豊かに暮らせる持続可能な地域経済社会をつくるため、ベッド、トイレなどの迅速な提供といった、避難所の生活環境の改善などの防災への取組に対する交付金になります。

ひさなが委員 はい、わかりました。この交付金の上限額みたいなものがあれば教えていただけますか。

防災危機管理課長補佐 当該交付金の市の国費の交付上限額ですが、4,000 万円になります。

ひさなが委員 それでは予算書 46 ページ 47 ページの第 17 目「防災対策費」、事業コードが 025「防災備蓄整備事業」です。今回の整備、マルチトイレ、蓄電池の件ですが、これで必要数が揃っているという考え方でよろしいんですか。

防災危機管理課長補佐 今回予算計上しております車いす対応マルチトイレ、蓄電池、大型簡易テントにつきましては、現段階での本市の防災備蓄計画での必要予定数を揃うことになります。

ひさなが委員 わかりました。物が揃うってことで、何かあったときの備えをするわけだと思んですけど、これ実際に災害が起きたときに、物があるけどどうやって使ったらいいんだろうとか、誰が使うんだろうとか、そういったことにならないような準備も必要だと思んですけど、物が増えている分、そういった計画というか、準備ってというのはどういうふうになつてますか。

防災危機管理課長補佐 おっしゃる通り、備蓄品だけ揃えても、それが非常時に使えないとかいうときってというのは、もう意味がなくなりますので、市の総合防災訓練だったりとか、地域の自主防災組織の訓練であったりとか、また地域の各種イベントに今年度も多数うちが備蓄品を持って参加させていただいて、市民の方に使い方とか、

ダンボールベッドの組み立て方とか、そういったことも含めて、一緒にやってる訓練というのも多々ありますので、そういったものもまたさらに継続していきたいとは思っております。

上田委員長 ほかにございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、防災危機管理課所管全般について、ご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので質疑を終わります。次に、デジタル戦略課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

企画総務部長 それではデジタル戦略課所管分につきまして補足説明を申し上げます。予算書 46 ページから 47 ページ、第 9 目「電算管理費」のコード 020「地方公共団体情報システム標準化対応事業」につきまして、9,660 万 1 千円を減額しております。その主な要因といたしましては、現行システムから標準化システムへの移行時期が最終的に本年 3 月になりましたことなどから、本年度分の標準化システム使用料の支払いがなくなり、通信運搬費で計上しておりますガバメントクラウド利用料につきましても半減する見込みとなったこと、また、本年度中に対象システム全てを標準化システムに移行することとしておりましたが、システム業者の移行計画に変更が生じ、一部システムについては令和 8 年度に移行することになりましたことから、不用額が生じたものです。

上田委員長 以上で補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:09 —

— 再開 10:11 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、総合窓口課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

市民生活部長 総合窓口課所管の補正予算につきましては、執行見込額と現計予算額との調整を行ったもののほか、補正予算書 52 ページから 53 ページの第 1 目「戸籍住民基本台帳費」、事業コード 900「戸籍住民基本台帳費」のシステム改修委託料につきましては、予算説明資料 1 ページに記載のとおり、法改正に伴い戸籍に記載される氏名の振り仮名について、住民記録システム等へ反映させるために必要な経費を計上しております。

上田委員長 以上で補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、市民活動推進課所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願い

します。

市民生活部長 市民活動推進課所管の補正予算につきましては、執行見込額と現計予算額との調整を行ったもののほか、補正予算書 44 ページから 45 ページの第 8 目「市民活動推進費」、事業コード 020「集落機能再生事業」につきまして、1,088 万 5 千円を減額しております。その主な要因といたしましては、集落支援員未設置協議会の新規配置について、3 人分の予算を確保しておりましたが、設置に至らなかったことから報酬等に係る予算が不用となったこと、また、新規地域づくり協議会の設立を目指し 3 地区分の予算を確保しておりましたが、設立に至らなかったことから、設立補助金及びモデル事業費補助金が不要となったこと、そして、地域づくり協議会が地域課題を解決する先駆的な取り組みに対応するために、モデル事業費補助金とは別に拡充事業費補助金として予算を確保しておりましたが、不用となったことから、予算を減額するものでございます。そして、説明コード 065「地域コミュニティ創出支援事業」につきまして、230 万 6 千円を減額しております。これは、コミュニティ創出支援事業費補助金について、不用となった補助金に係る予算を減額するものでございます。また、補正予算書 50 ページから 51 ページの第 42 目「地域交流プラザ費」事業コード 100「地域交流プラザ施設・設備改修事業」につきまして、985 万 1 千円を減額しております。その主な要因といたしましては、中央交流プラザに係る施設整備工事において、入札残により不用となった工事請負費に係る予算を減額するものでございます。

上田委員長 以上で補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、生活環境課所管について質疑を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。

市民生活部長 生活環境課所管の補正予算につきましては、執行見込額と現計予算額との調整を行ったもののほか、補正予算書 64 ページから 65 ページの第 6 目「環境衛生費」、事業コード 015「合併処理浄化槽設置事業」について、481 万 6 千円の減額補正を行っておりますが、これは「浄化槽設置整備事業費補助金」を実績に合わせて適正額に減額したものです。次に、補正予算書 66 ページから 67 ページの第 2 目「塵芥処理費」、事業コード 045「萩・長門清掃一部事務組合負担金」について、868 万 5 千円の減額補正を行っておりますが、これは萩・長門清掃一部事務組合において、前年度繰越金や管理運営費を精算されたことにより、今年度の負担金が確定したことにより減額したものです。

上田委員長 以上で補足説明が終わりましたので、これより質疑をさせていただきます。ご質疑ございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:16 —

— 再開 10:17 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、地域福祉課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

健康福祉部長 補足説明はありません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、高齢福祉課所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。

健康福祉部長 補足説明はありません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員会のため暫時休憩します。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。委員の皆様は自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:18 —

— 再開 10:18 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に子育て支援課所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。

健康福祉部長 補足説明はありません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、健康増進課所管について審査を行います。執行部の説明がありましたらお願いします。

健康福祉部長 補足説明はありません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩します。

— 休憩 10:19 —

— 再開 10:20 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、農業委員会事務局所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

農業委員会事務局長 補足説明は特にございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、農林水産課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

経済産業部長 はい。それでは農林水産課所管の補正予算につきまして補足説明を申し上げます。補正予算書では 32 ページから 33 ページ、第 18 款「財産収入」、第 2 目「立木売払収入」について、57,787 千円の減額補正を計上しております。減額補正となった理由としまして、林業成長産業化推進事業において、面積 31.6 ヘクタールの市有林を活用した素材生産拡大業務を実施することとしておりましたが、施業を請け負う事業者が確定できず、面積 11.44 ヘクタールの実績見込みとなったことによるものです。次に、補正予算書 36 ページから 37 ページ、第 22 款「諸収入」、第 4 目「雑入」のうち、Jクレジット販売収入につきまして、27,753 千円の減額補正を計上しております。減額補正となった理由としましては、当初、令和 7 年 6 月に、CO₂吸収量の認証を受ける予定でありましたけども、全国的に申請件数が増加したことによりまして、Jクレジット制度事務局の事務が煩雑となり、認証が本年 3 月に後ろ倒しになったことによるものであります。次に、補正予算書 70 ページから 71 ページ、第 6 款「農林水産業費」、第 5 目「畜産業費」の事業コード 070「畜産団地整備事業」としまして、46,082 千円の減額補正を計上しております。減額の理由としまして、当初、事業予定地の外周に擁壁工を予定しておりましたけども、造成計画の見直しにより、土羽仕上げとしたことにより減額となったものでございます。最後に、先ほど、歳入の減額補正で第 2 目「立木売払収入」のご説明をさせていただきましたけれども、これに伴いまして、補正予算書 72 ページから 73 ページ、第 6 款「農林水産業費」、第 2 目「林業振興費」の事業コード 085「林業成長産業化推進事業」におきまして、業務等委託料などに関連する経費 56,374 千円の減額補正をあわせて計上いたしております。

上田委員長 補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。

中平委員 補正予算書 73 ページ、補正予算説明資料 2 ページ、第 4 目「県営仙崎湾漁業増進モデル事業費負担金」について、これは具体的な造成方法をまずお伺いいたします。

水産振興班長 具体的な造成方法につきましてお答えします。まず、通漁港、小島漁港において既存の漁港施設を活用した石材礁、保護礁を設置します。具体的な造成方法としては、防波堤や護岸下部のマウンドに藻場を造成する目的で石材礁を設置し、またその周辺にナマコの幼生の付着、増殖を目的した保護礁を設置する工事を予定しております。

中平委員 この事業は、漁師さん、漁業従事者は関わっていくと思いますが、どのような関わり方になるのか、お伺いいたします。

水産振興班長 この事業に対する漁業者の方の関わりですが、まず漁礁の設定箇所

の選定、設置後のモニタリング等の管理を漁業者にお願いすることになります。

中平委員 漁業は自然現象が相手で、特に異常な高海水温が、高波による海底地形の変化と、すごい影響を受けるものですが、この事業を実施することによって、藻場造成後のナマコなどの水揚げをどの程度見積りしているのか、わかる範囲で結構ですのでお伺いいたします。

水産振興班長 漁港施設にナマコ等の当初目的とした漁礁を設置することで、沖合がシケであっても、比較的近くでナマコ採捕する漁業を行うことができます。また、ナマコ幼生が漁礁に付着して成長して沖合に出ることで、ナマコ資源の増加が期待できるものと考えております。

中平委員 これは藻場礁の造成となると、海藻が育つということで、ブルーカーボンクレジットとの関係性がもしありましたらお伺いいたします。

水産振興班長 現在、仙崎湾内の漁協 4 支店のグループでブルーカーボンクレジットによる藻場の保全活動を実施しております。具体的には、ガンガゼ等の食害生物の除去や、母藻の設置等を行っておりますが、今、当該漁礁等にガンガゼ等の食害生物が大量発生した場合においては、そのブルーカーボンクレジットの藻場保全活動の一環として、ガンガゼの駆除等を行う予定です。

上田委員長 関連はございませんか。

ひさなが委員 今の関連です。この事業の予算計上は今のタイミングの理由をお伺いしてもいいですか。

水産振興班長 国の補正予算で採択されたのが 12 月でありまして、本補正予算で計上して、繰越を予定しております。

ひさなが委員 はい、わかりました。あともう 1 点、財源が市債になってますけど、これはどういったものなのかというのをお願いします。

財政課長 財政課からお答えいたします。県営事業の漁港増進モデル事業ということで、過疎対策事業債を 1,200 万円ほど充当しております。

上田委員長 ほかに関連がございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかにご質疑はございますか。

重村委員 それでは説明がありました立木の売払の件で確認をさせていただきます。私も見たときに 1 億 2,000 万円ぐらいの当初予算をつけて、5,700 万円の立木の売払の歳入がないということで、率にして 47 パーセントぐらい。これは当初の目的が達成されないという状況になります。今説明を受けまして、歳入ももちろん減ります。そのこの業務委託料も減額をいたしますということで、まあ何か丸く収まるようなご説明のように聞こえるんですけども、多分この委託先としては、リフォレながと及びひよつとしたら西部森林組合、ここにお願いするという事業だったと思うんですよ。これは何て言いますかね、収入も、歳入も少なくなるから、そこに係る歳出も減額しました。それでいいでしょという、私はそういうわけにはいかないでしょというふうに思ってます。

て、当市の市長はね、やっぱり林業分野というのは力を入れていくんだということで、この業務ができなかったっていうのは、そのリフォレながとの衰退とか、そういったところに私は繋がるんじゃないかなという懸念を持つわけです。そういう観点から、この業務がやっぱりできなかったっていうのは、原課としてどのように捉えているのか。そして、この事業というのは来年度間違いなくこれはきちんと実施できていくものなのか、そういう観点からのご答弁をちょっとお願いしておきたいというふうに思います。

農林水産課長 重村委員のご指摘、ご尤もなところでございます。今、林業のほうでございますが、今回のこの事業につきましては委員おっしゃられたとおり、森林組合、それとリフォレながとに委託を出しまして、業をやっていただくというふうになっております。特に素材生産拡大業務、これが、30ヘクタールくらいが11ヘクタールに落ちたというところで、非常に農林水産課としてもこういったところについては危機感を感じているというところでございます。実際、この事業といたしましては、リフォレながとが基本的には市内の施業業者、林業事業体のほうに委託を出しまして業をやっていただくという形をとっておりますが、昨今というか、林業の中で去年から、ちょっと事故そういったものもございまして、これまでやっていただいていた事業体が今年度はなかなかその事業を請け負うことができなかったというところ。それと今、林業事業体の中では慢性的と言っているのかわかりませんが、やはり労務不足というものも発生しております。そういったことで、通常であれば施業を行っていただける事業体がやはり少なくなるというところで、今回こういうふうな減額補正というふうに至ったところでございます。今、市としていたしましては、リフォレながとも連携しまして、担い手の確保育成、そういった事業も実施しております。地域おこし協力隊、そういった人たちにも是非この長門での林業施業にご尽力をいただきながら、いわゆる林業事業体として体制を出していただきたいというふうに考えておりますので、そういった事業体を育成しながら、今後こういった事業を展開していく必要があるというふうに思っております。それと市内の林業事業体だけでは、なかなかうまくいかないという面も、今回ちょっといろいろ見えてきたところもございますので、市外の林業事業体、そういったところも柔軟に活用していく必要があるのかなというふうに思っております。

重村委員 最後に、もう1点だけ聞いたと思うんですけど、来年度にこの事業を、来年度にプラスしてできるようなものなのか、いやそれはなかなか厳しいのか。そういう見解を私は持っておかないといけないと思うんですけど、どうですか。

農林水産課長 正直申しますと、厳しいかなというのが今、農林水産課の判断でございます。ただ、やはり厳しいということばかりを言っておられません。どうにかしてやっていかなくちやいけないという気持ちも持ちながら、この事業を展開していきたいというふうに思っております。

林委員 今の重村委員の関連なんですけど、当初のこの31.1ヘクタールというこの見通しがどうだったのかっていうのが、ちょっと私は思うんですよ。そもそもこれがちょ

っと過大な数値だったのか、要するに現状に合わない施業をやろうとしてたのかどうかというの、そのあたりどのようにお考えなんでしょうか。

農林水産課長 この令和 7 年度の当初予算を策定したときには林業事業体として 2 つの事業体も加わっていただいて、2 つの事業体というのが事故を起こした事業体にはなるんですが、そういった事業体も入っていただいて、施業をするのであれば、これは可能であるというふうな認識ではおりました。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)では、そのほかで。

首藤委員 予算書 36 ページ、37 ページ、第 22 款「諸収入」、第 4 項「雑入」、第 4 目「雑入」の先ほどの J-クレジット販売収入についてももう少しちょっと詳しく聞きたいんですけど、認証が後ろ倒しになったから、この分が入ってこなかったということなんですけど、これは来年度になってこの分も入ってくるということでもいいですか。

林業振興班長 委員ご指摘のとおり、今年度認証を受けまして、およそ 1 か月で制度上の口座のほうにこのクレジットが入ってくるという認識でございます。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)では、そのほかに質疑がありましたら。

田村大治郎委員 水産についてお尋ねします。補正予算書 73 ページ、第 2 目「漁港管理費」、事業コード 700「漁港施設等維持管理費」になります。LED 照明設備リース料 329 万 5,000 円ですけれども、これは当初予算の全額じゃないですかね。これが減額されておりますけれども、交換予定でした箇所についてはどうなっているのかという説明をお願いします。

水産振興班長 交換箇所としては、今市が管理してます仙崎人工島の多目的集会所と、あと各漁港、通とかを予定しておったんですが、今回照明機材の入荷が遅れたこと等により工事事業者のスケジュールが必要になって、予定より工期が遅れました。それでちょっと今回、予算見込額より予算を減額しております。全額ではありませんが、2 か月分程度のリース料は残額として残しております。

田村大治郎委員 交換されなかった街灯については、今どういった照明がついてるんでしょうか。ついてないんでしょうか。

水産振興班長 交換できなかった照明につきましては、水銀灯や通常の白熱灯がついております。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかに質疑がございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、農林水産課所管全般について、ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩します。再開を 50 分からといたします。

— 休憩 10:37 —

— 再開 10:47 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、産業政策課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

経済産業部長 それでは産業政策課所管の補正予算につきまして、補足説明を申し上げます。補正予算書 32 ページから 33 ページ、歳入の第 12 款「寄附金」第 2 目「指定寄付金」の「長門市ふるさと応援寄附金」につきまして、1 億 5,000 万円を減額計上しております。これは、令和 7 年 9 月の補正予算におきまして、年間寄附額を約 7 億 5 千万円と見込んでおりましたが、令和 7 年 10 月からのポイント付与禁止前の駆け込み需要後の反動減が、令和 7 年 10 月から、想定以上に大きくなったものでございまして、例年、最も多くの寄附をいただいております 12 月の寄附額につきましても、前年比 60.7 パーセントと大きく落ち込んだことから、年間寄附額を前年比 88.7 パーセントの 6 億円と見込んだことによるものであります。これに伴いまして、補正予算書、44 ページから 45 ページの第 2 款「総務費」、第 6 目「企画費」の事業コード 067「ふるさと応援寄付推進事業」におきまして、寄付金減少に伴う経費として、74,499 千円を合わせて減額計上しております。次に、補正予算書 74 ページから 75 ページ第 7 款「商工費」、第 2 目「工業振興費」、事業コード 025 の「地域公共交通推進事業」につきまして、11,000 千円を減額計上しております。これは、三隅地区のデマンド交通において、沿線の路線バス廃止に伴う通学便等の増便分の運行経費が、当初の見込よりもかからなかったことなどによる減額など、各地区デマンド交通の事業実績見込みに基づく減額補正となったものでございます。

上田委員長 以上で補足説明は終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。

田村大治郎委員 それでは、補正予算書 74、75 ページです。先ほど補足説明でもありましたけれども、第 2 目「商工業振興費」、事業コード 025「地域公共交通推進事業」の減額について、もう少し詳細な説明をお願いします。

地域交通対策班長 デマンド交通の減額でございますけれども、三隅地区におきまして、路線バスの廃止等によりまして通学便を増便されました。通学生は 17 名おりましたので、1 台で運行できないということで 2 台分計上しておりましたけれども、欠航便は時間帯が違うとか、学年によりまして時間帯も違いますので、そういったことから、また保護者の送迎等もありまして見込みよりも稼働する台数が少なかったことから減額となっております。

田村大治郎委員 では、三隅の増便についてはわかりました。見込みより、利用者が少なかったということですが、これは保護者の送迎があったことがその登校、下校どちらにも減額の理由になったということでしょうか。

地域交通対策班長 保護者の送迎等もありますけれども、学年によって下校する時間帯が 3 時間目であったり、4 時間目であったりと、そういったことで通常 2 台必要だっ

たのが、1名増えるか増えないかによって1台で稼働というふうなケースもありますので、そういったことを踏まえて、予定よりも台数が少なかったということでございます。

田村大治郎委員 それではもう一つ、その他の地区について減額の理由がありましたらお願いします。

地域交通対策班長 その他の地区におきましては、特に俵山地区におきましては利用者が減少いたしましたことから、運行見込みが当初よりも少なかったということに応じて減額となっております。

上田委員長 関連ございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかにご質疑がありましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、企業誘致・まちづくり推進課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

経済産業部長 補足説明は特にございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため、暫時休憩します。委員の皆様は、自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:53 —

— 再開 10:54 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、観光政策課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

観光スポーツ文化部長 それでは補足説明をさせていただきます。補正予算書77ページの第7款「商工費」、第2項「観光費」、事業コード105「観光客誘致拡大事業」につきまして1,000万円を減額しております。これは観光庁の補助金を活用しまして昨春秋のプレ実施期間中に実施予定でありました元乃隅神社のライトアップ事業が中止になったため補助金を減額するものでございます。

上田委員長 以上で説明は終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、スポーツ文化交流課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

観光スポーツ文化部長 補足説明は特にございません。

上田委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はございませんか。

ひさなが委員 それでは予算書50、51ページ、第39目「文化振興費」、コード010「文化施設管理運営事業」のドキュメンタリー映画制作費補助金の減額について、ま

ずこの減額の理由をお伺いいたします。

文化交流班長 当初、本年度中に映画が完成見込みでございましたが、完成年度が令和 8 年度中になることから、補助金も 2 か年に分けて交付するため 3 月補正で減額したということになっております。

ひさなが委員 はい、わかりました。市民の方からもあれはどうなったのっていう声が非常にやっぱり多くて、なかなか情報の中で出てきてないような感じはあるので、熱量もそんなに上がってないのかなっていうのがあるんですけど、その辺の進捗の状況であったり、情報の周知っていうような状況についてお伺いします。

文化交流班長 令和 7 年度中の事業といたしましては、映画のシナリオの作成、キャスト、スタッフの手配というような、そういう先行のロケハンとかっていうような状況で、いまだ現在、準備段階のところであると認識しております。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかに質疑がございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、スポーツ文化交流課所管全般について、ご質疑はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため暫時休憩いたします。委員の皆様は、自席で待機をお願いします。

— 休憩 10:56 —

— 再開 10:58 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、都市建設課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

建設部長 それでは、都市建設課所管について補足説明いたします。補正予算書は 78、79 ページ、第 3 目「道路橋梁新設改良費」になります。工事請負費において、国の社会資本整備総合交付金の配分が低かったことから、市道改良舗装工事及び橋梁改修工事を調整しまして合計 8,712 万 4,000 円を減額するものとなります。次に、補正予算書 90、91 ページになります。第 1 目「現年公共土木施設災害復旧費」及び第 2 目「過年公共土木施設災害復旧費」になります。工事請負費において、実施設計に伴い合計 5,588 万 3,000 円を減額するものとなります。

上田委員長 以上で補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございますか。

重廣委員 都市計画費の中の第 5 目「地籍調査費」について伺いたいと思います。これは毎年補正で今頃の時期に出ておりますが、今回のこの地籍調査をされる地域、面積を伺いたいと思います。

地籍班長 この度、日置地区の一部と深川湯本地区の一部の調査を実施いたします。日置地区においては畑ダム周辺の山間部 0.74 平方キロメートルを実施いたします。

深川湯本地区においては玉泉閣裏の山間部を三ノ瀬方面に向けて 0.40 平方キロメートル実施いたします。

重廣委員 これを踏まえまして、この 2 つは終了したとして、市全体の何パーセントに当たるのか伺いたいと思います。

地籍班長 この度、2 地区の調査面積が合計で 1.14 平方キロメートルになりまして、全体の 0.5 パーセントの調査となります。

都市建設課長 市全体で申しますと、約 68 パーセントとなります。

重廣委員 本当にこれは毎年の質問で恐縮なんですけど、残り 32 パーセントがまだあるということですよ。来年はまた 0.5 パーセント程度の調査、国の補正が下りてくれば調査されるということでしょうけど、その調査対象地域についてあと当然残っているところを調査されるんですけど、その中でも特に高齢者の多いところとか、いつも毎年言ってますよね。山の境がわからないと、高齢者がお亡くなりになられる前に地積調査をしてくれないかっていうところが大変多くございます。新しく選定する地域として、特に高齢者が多いところとか、そういうふうな選定方法はされないのか、去年ここまでしたからその続きをやるというやり方ではなくてね、高齢者が特に多い場所を選んで山や何かを特にやるとか、そういう方法を今から考えていかないと残りの 32 パーセント、前回もずっと聞いたんですけど、見込みが何年になるかわからないという見通しを持っておられますよね。あと 10 年で完璧に終わるといっているのであればいいんですけど、計算したら 0.5 ですから 32 パーセントということは 64 年かかるっていうことなんです、計算すれば。64 年後っていったら人が変わりますし、その山の境をご存知の方も当然おられません。だから、次の年の地籍調査の場所を選定する場合、この地域は特に高齢者が多いなとか、そういうところを選んでやるという方法はないのかどうか、その見解を伺いたいと思います。

都市建設課長 長門市全体で、先ほど申されましたように高齢化というのはほぼこの地域も高齢化になっておりまして、調査地区の選定におきましてはやっぱり先ほど重廣委員が言われましたように、前年度調査区域の続きで調査していくのが経費的にも非常にメリットがございます。一定程度のエリアが完了した場合は、またどこからかということを選定することにはなろうと思いますけど、一般的には続きの土地、山間部とか住宅地を調査するという方向性になっております。

重廣委員 大変よくわかります。そのような回答は来るであろうなということは認識しておりました。一つ聞きたいんですけど 20 年前と最近を比べたら、やはり先ほど言いました山の境とか土地をご存知の方がおられないというのが現状だと思うんですが、調査方法に何らかの変化があるかどうか、どのように原課としては考えておられるかを伺いたいと思います。

都市建設課長 例年、山の境がわからないというのがもう毎年問題になっております。ただし、調査方法がなかなか山の地積を 1 足飛びにできるような調査方法がまだご

ざいませぬ。一部でリモートセンシングと言いまして、航空写真で大体の境を決めてしまふという方法はあるんですが、それを採択するにはとてつもない山の面積を同時にやらないと経費的にもメリットがでてこないということで、山口県でもほんの一部の市でしかまだ実施されておりませぬ。また、地籍でなかなか地図が混乱している区域ということで、法務省直轄で行われている地積調査もあるのですが、それにも要望調査の中でエントリーはしてみたのですが、長門市がこの人口密集地が基準に達しないということの中で、対象になりませぬでした。これは、過去に仙崎地区で行った地籍調査の方法ですが、そういうのも今の長門市では対象になる地域がないということで、今後も、今までどおりの調査の進め方しかありません。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかにご質疑がございましたら。

田村大治郎委員 それでは、これも補足説明にありましたけれども、補正予算書 78 ページ、79 ページ、第 3 目「道路橋梁新設改良費」の減額についてお尋ねをするんですが、国の交付金の配分が低かったことによる減額ということになるんですが、これによって工事スケジュールが変わってくると思うんですね。今年度この事業を使って実施予定だった工事のうち、完了したものと、来年以降に継続するものがあると思うんですが、その名称だけ教えていただけますか。

建設班長 完了する工事につきましては、市道改良工事につきましては津黄線の落石対策工事、こちらのほうが完了となります。それから天神十王道線の道路改良工事、こちらのほうも完了となります。ただ、土手正楽寺線につきましてはまだ継続事業ということもありまして、今年度も継続して事業をやっていくというところでございます。あと、すみませぬ、地現線のこちらの道路改良工事、こちらのほうも今年度で完了という形になっております。それから橋梁改修工事のほうですけども、こちらのほうは橋梁の新橋、それから黄波戸線 1 号橋、こちらにつきましては今年度、交付金が付かなかったことから来年度への延期という形になっております。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかにご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、都市建設課所管全般について、ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。次に、建築住宅課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

建設部長 それでは、建築住宅課所管について補足説明いたします。補正予算書 80、81 ページになります。第 1 目「住宅管理費」になりますが、事業コード 040「空き家対策事業」の空き家除却事業費補助金では 4 件で合計 395 万円の実績がございましたが、205 万円の減額をしております。

上田委員長 以上で補足説明は終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑はございますか。

田村大治郎委員 補正予算書 81 ページです。第 1 目「住宅管理費」、事業コード 010「社会資本整備総合交付金事業」になります。こちらの市営住宅整備工事ですが約 700 万円の減額をしておりますけれども、この減額理由をお願いします。

住宅班長 上川西市営住宅 D 棟の改修工事の減額となります。本体工事費が 634 万 800 円で、一時引っ越しに伴うケーブルテレビやガス機器の移設工事経費を 81 万 8,840 円、それぞれ減額になりまして合計 720 万 3,000 円の減額をするものです。

田村大治郎委員 全体の工事の中で、それが不要になったということによろしいですかね。

住宅班長 工事が不要になったということで減額するものでございまして、特に取り止めとかになった工事というのはございません。今回の工事費の減額は設計内容を精査したことによるものと、入札減によるものでございます。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかに質疑がございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、建築住宅課所管全般について、ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで、説明員入れ替えのため暫時休憩します。委員の皆様は、自席で待機をお願いします。

— 休憩 11:10 —

— 再開 11:11 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。次に、教育総務課および学校教育課主幹について、一括して審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

教育部長 それでは、教育総務課及び学校教育課所管の主な補正予算につきまして、補足説明をいたします。補正予算に関する説明書の 86、87 ページ、第 1 目「学校管理費」、事業コード 025「学校施設・設備等整備事業」の 28,149 千円につきましては、学校施設の安全安心と質の向上を図るため、国の交付金を活用し、令和 8 年度に予定しております学校施設改修事業の一部を前倒して実施するものでございます。また、実績見込みによる減額を併せて計上しているところでございます。詳細につきましては、補正予算説明資料 3 ページに記載のとおりでございます。なお、前倒しにより計上した予算につきましては、年度内の事業完了は困難なことから、補正予算書の 6 ページ、第 2 表「繰越明許費補正」の記載にあるとおり、翌年度に全額を繰り越すものであります。

上田委員長 補足説明が終わりましたので、これより質疑を行います。ご質疑ございませんか。

田村継委員 予算説明資料 86、87 ページ、説明資料 3 ページ、第 10 款「教育費」、第 2 項「小学校費」、第 1 目「学校管理費」、コード 025「学校施設・設備等整備事業」

についてお伺いします。この事業の内容、どこを整備されるのかをまずお伺いいたします。

教育総務班長 こちらの工事内容につきましては、管理教室棟既存空調の更新であります。場所としては校長室、職員室、保健室の計 3 室と、キュービクルの改修になります。

田村継委員 では、工期の予定をお伺いいたします。

教育総務班長 工期につきましては、5 月に入札をしまして 12 月までを想定をしております。

田村継委員 キュービクルを導入されるということでしたがガス式から電気式になるという認識でよろしいでしょうか。

教育総務班長 その通り、ガスから電気に変更します。

田村継委員 では見込みで結構なんですけれども、ランニングコストは下がるという見込みでよろしいでしょうか。

教育総務班長 ガスに比べて電気の方が、ランニングコストが下がると見込んでおります。

田村継委員 では最後に。学校のほうは自治体の指定避難場所になってると思うんですけれども、非常用電源等でこの電気式になったときにカバーできるという考えでよろしいでしょうか。

教育総務課長 ご指摘につきましてはこちらも、災害時のエネルギーの確保の観点から、ガス式の更新というのも検討したところなんですけれども、やはり、イニシャルコスト、ランニングコストが電気式の方が安いというところと、あとメンテナンスの容易性ですね。そちらの方、それとガス式がどうしてもマルチ式になりますので、1 か所の故障が全体に故障を及ぼす可能性、リスクが高い。電気式はパッケージ式ですので、1 箇所の故障でも最小範囲に留めることができると考えております。学校の校長室や管理教室棟の空調ですので、災害時のことも想定をするんですけれども、やはり学校のほうの通常の授業、学校の活動への影響が最小限になるということを重視させていただいて、こちらのほうで整備させていただくようにしたところでございます。

上田委員長 関連はございますか。(「なし」と呼ぶ者あり)ほかにご質疑がございましたら。(「なし」と呼ぶ者あり)今一度、教育総務課及び学校教育課所管全般についてご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。ここで説明員入れ替えのため暫時休憩します。委員の皆様は自席で待機をお願いします。

— 休憩 11:16 —

— 再開 11:17 —

上田委員長 休憩前に引き続き会議を始めます。最後に地域連携教育推進課所管について審査を行います。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

教育部長 補足説明はありません。

上田委員長 補足説明はないようですのでこれより質疑を行います。ご質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご質疑もないので、質疑を終わります。以上で議案第 1 号に対する質疑を終結します。討論を行います。ご意見はありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり)ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第 1 号について、原案の通り決定することに賛成の方は挙手願います。挙手多数です。よって、議案第 1 号は原案の通り可決すべきものと決定しました。以上で本委員会に付託された議案の審査は終了しました。これで予算決算常任委員会を散会します。どなた様も、ご苦労さまでした。

— 散会 11:18 —